

2026 夏の特別展

新潟県立自然科学館
NIIGATA SCIENCE MUSEUM

この夏、自然科学館が魔法につつまれる。

光と影のマジックワールド

～見て触れて遊ぶ、体験型アートの祭典～

| 夏休み開催 |

新潟県立自然科学館では、夏の特別展「光と影のマジックワールド～見て触れて遊ぶ、体験型アートの祭典～」を令和8年7月18日（土）から9月6日（日）まで開催いたします。

本展は、科学技術とアートが融合した今話題の体験型アート展です。一歩足を踏み入れると、そこは光と影が織りなす不思議な世界。“見て・触れて・遊んで”直感的に楽しめるこの展覧会は、かつて体験したことのないアート体験へと誘います。国内外で活躍するアーティストが手掛けた、インタラクティブ性の高い体験型アート作品、全13作品を展示。子どもから大人まで誰もが夢中になれる、驚きと魔法のような世界をぜひご体感ください。

光と影のマジックワールド～見て触れて遊ぶ、体験型アートの祭典～ 開催概要

- 開催期間 : 7月18日（土）～9月6日（日）
7月21日（火）、9月1日（火）は休館
- 時間 : 9:30～17:00
※8月31日（月）～9月4日（金）は、9:30～16:30
（最終入館は閉館30分前まで）
- 特別展入場料 : 大人1,200円 / 小・中学生800円
※別途、入館料（大人580円 / 小・中学生100円）も必要
※平日限定サービス（入館料減免 / 割引）あり ジュニア / シルバー / パパ・ママ / ペア
- 会場 : 1階 特別展示室
- 主催 : 新潟県立自然科学館、NST新潟総合テレビ

本件についてのお問い合わせ

文化課文化政策係：本間（直通 025-280-5138 内線 2242）

◇取材に関するお問合せ◇

新潟県立自然科学館 担当：関（代表 025-283-3331）

<https://www.sciencemuseum.jp>

「光と影のマジックワールド」展示作品例



《なげる、あてる、ひろがる、花火》スイッチ

ボールを投げる事でインタラク션을起こす作品。ボールを壁にあてると、音とともに様々な形や色の花火が打ち上がる！



《ユビサキに咲く》本多大和 (pook)

手の動きに合わせて万華鏡のように色鮮やかな花が描かれる、参加型インタラクティブ作品。壁にかざした手をくるくると回すように動かしたり、ジグザグに動かしたり、体ごと大きく動かしたり、色々な動きで描いてみよう！



《Immersive Shadow: Bubbles》藤本直明

壁に映った自分の影と映像が影響しあう、インタラクティブアート作品。壁に映し出された自分の影で、カラフルなボールにふれて変化を楽しもう！



| 新作 |

《AQUARIA》赤星俊平 / 齊藤エドワード (STARWARD)

海の景色の前で体を動かし、泳ぎ回る魚たちに触れて楽しむインタラクティブ作品。魚たちに触れると、周りにたくさんの魚が集まり、やがて大きな魚群に！



| 新作 |

《MEISAI 2》渡邊敬之 (北千住デザイン)

人のシルエットや動きにあわせて、それを活かした様々な映像効果を楽しむインタラクティブ作品。作品の前で体を動かして、様々な変化を楽しもう！

その他の作品とあわせて、全 13 作品を展示！※展示作品、作品の内容は都合により変更となる場合があります。